

さとう たつみ
佐藤辰己



安全、安心対策は

質問
急傾斜地の防災対策と現状はどうか。

答弁 総務部長

県をはじめ関係機関の協力で防災パトロールを実施し、危険箇所総数460カ所のうち、急傾斜地は183カ所です。

地域における自主防災組織の育成に努め、防災知識の普及・啓発、訓練を実施していきたい。

崩壊危険箇所は、防災パトロールの結果をもとに住民の不安解消と安全確保に努めます。

お問い合わせ

質問

花いっぱい運動の住民参加と対策は。

答弁 市長

市民運動連絡協議会を設置し、市民運動を展開していきたい。
遊休地などを利用した運動にも努めていきます。

中九州横断道路の早期実現を

質問

中道インター（仮称）周辺整備の状況は。

答弁 市長

中原河屋線の中道インターから片島間については、道路整備交付金事業に追加申請し、協議中です。

早期に事業着手ができるように努めます。



▲整備が進む中道インター（大野町）

えとう たつや
衛藤竜哉



災害に強い道路改良を

質問

市の発展の起爆剤として道路改良は、絶対必要だ。計画とビジョンは。



▲今にも崩れ落ちそうな岩場（県道緒方高千穂線）

答弁 市長

7月に市は、土木事務所および豊肥振興局と「豊後大野道づくりを考える会」を設立しました。

国道、県道、市道をはじめ農道、林道を含めて議論し、豊後大野市の「みち」を考えます。

質問

災害に対する取り組みは。

答弁 総務部長

県から防災担当と建設課に状況の報告があります。市は、情報収集を図りながら、通行止めなどを関係地域の住民へお知らせしています。

市職員の意識、資質の向上に向けて

質問

職員の市民への接し方、地域での貢献度が低下しているのでは。

答弁 総務部長

各種研修への参加や市の独自研修を行っていますが、まだまだ十分な状況ではありません。

今後、市民の目線に立った対応を全職員挙げて取り組むように、さらなる研修の内容充実に向けていきます。

質問

第1回豊後大野市消防操法大会の反省点は。

答弁 消防長

操法の統一審査事項などが操法要員全員に徹底できなかった。

次回からは、操法要員を含めた全体の事前会議を開催したいと考えています。